

「治山(ちさん)の森」 普及啓発活動

平成30年6月21日 道民の森神居尻地区の「治山の森」において北海道岩見沢農業高等学校の学生を対象に研修が実施されました。その一環として「治山の森」PR資料の配付を行い、治山事業、治山の森についての説明を行いました。

○森林室職員による治山事業についての説明のようす



○森林室職員による治山の森についての説明のようす



○「治山の森」内の施設について散策しながら説明



「治山(ちさん)の森」とは？

札幌市の北東約70kmに位置する当別町青山奥にある「治山の森」(面積約3.2^{ha})は、北海道が実施する民有林治山事業が1948(昭和23)年度に開始され、1997(平成9)年度で50周年を迎えたこと、また、1897(明治30)年度に発足した保(ほ)安(あん)林(りん)制度が100周年を迎えたことから、その記念事業の一環として、治山事業の重要性や施設等の働きなどについてご理解いただくために、1996(平成8)年度から1999(平成11)年度にかけて、道民の森神居尻地区内において北海道が整備しました。